



## 協議会会長より

### 会長メッセージ

会長 栗原靖之（横浜国大）

いつも協議会活動にご協力いただき誠にありがとうございます。

最近、私は「人間の存在価値」について考えます。AIの進化が社会に与える影響は計り知れません。これまで時間を奪っていた非生産的な作業が、ChatGPTのような技術で一瞬にして解決できるようになりました。「AIとどう共存するか」は、未来を生きる私たちに突きつけられた重要な課題です。SF的な不安もあります。「AIが仕事を奪う」「AIに支配される」といった声があるのも事実です。しかし、パンドラの箱はすでに開きました。この先の社会がどうなるかは不確かですが、私たちは恐るべきツールを手に入れました。重要なのは、これを正しい方向に使うことです。

今年のノーベル賞は、AIを活用したタンパク質構造解析技術に贈られました。かつて私が構造解析を研究していた頃、学生たちは数年を費やしてNMRでたった一つのタンパク質の立体構造を決定していました。今では、アミノ酸配列を入力すれば数分で高精度な結果が得られます。過去の労力を思うと虚しさを感じますが、それが人間の役割を奪うわけではありません。むしろ、ここからが人間の本領です。

AIに過去の知識を任せ、新たな視点で行動することが、人間としての価値を証明します。たとえば、機器の操作に熟練することで得られる精度や効率を高める技術の習得、新しい分析手法を開発して未解明の課題に挑むこと、そして機器管理においては、最低限の

労力で最大の成果を引き出す運用方法を考案することが挙げられます。また、働きやすい現場環境を整えることも重要です。これらの取り組みは、AIでは代替できない人間ならではの価値を発揮する具体例といえます。

「大学の教育研究に資する研究基盤を構築・運営すること」を共通目標として共有し、一人一人が個別の目的課題を設定し、新たな発想に基づいた正しい行動をすることが私たちに求められています。軋轢を恐れずにこれを実行する人が、これからのAI時代に生きる価値を実践することが、未来を切り開く鍵だと思います。

## 開催を終えて

（新潟総会・技術職員会議・シンポジウム）

## 回顧録

新潟大 古川 貢

2024年10月11日(金)に令和6年度総会・技術職員会議・シンポジウムを新潟大学 新潟医療人育成センター 4Fホールにて開催いたしました。現地参加、オンライン参加を併せて243名に参加していただきました。無事に例年通り開催でき安堵しております。参加していただきました皆様、どうもありがとうございました。今回はLettersに記載する機会をいただきましたので、この一年を新潟らしく「食」というキーワードから振り返ってみたいと思います。

私自身の抱く新潟のイメージは、米、魚、酒です。参加者は、これらを楽しみに新潟に来られると勝手に思い込んでいます。この観点から、参加者の皆さんに満足して帰ってもらうことを私のミッションに設定しました。最初に、大学内他部署に協力いただけるものを確認したところ、「新大コシヒカリ」を人数分入手す

ることができました。また、少々高めではありますが、参加者のお弁当として、新潟の米を使ったおにぎりにすることで、米に関してはクリアしました。次は魚です。懇親会に費やせる費用は限られていますが、その中でケータリングを依頼した業者「瀧ずし」に頑張ってください何とかクリアしました。最後に残ったのが酒です。「瀧ずし」に、飲み放題というオーダーとすることで、日本酒3銘柄については準備できました。これで納得すればよかったのですが、ちょっと欲が出てしまいました。しかし、予算は無いです。そこで、酒造会社に直接連絡を入れ、ダメ元で懇親会に協力依頼(一升瓶1本)することにしました。私自身も驚いたのですが、意外とOKと言ってくれる酒造会社が多く、「今代司酒造」、「北雪酒造」、「高野酒造」、「石本酒造」の4酒造会社に快諾いただきました。我々のオファーをOKと言っていたので、これで酒もクリアですが、皆さんに全力で協力いただいた酒造会社をアピールすることが私のミッションに加わりました。タイミングとしては、シンポジウム終了後の空き時間。懇親会の直前なので、ここがベストと判断しました。時間としては、あまり冗長にならず聞きやすい15分程度。形式的なアピールは退屈になるので、懇親会前らしく砕けた感じにし、とにかくインパクトを強くすることを考えてプレゼンの準備をしました。思案している間に、結局前日の午前2時まで準備していたのですが、ネタを仕込んでいる時間なので、比較的楽しい時間だったんです。さて聞いていただけた皆さんいかがでしたか？何人かの方からは「酒造会社に行ってくる」、「買って帰った」などのお声は耳にしましたので、最初に設定した私のミッションはクリアできたと自画自賛しています。また、お礼のメールをいただいた酒造会社もありました。まさにwin-winの関係を築け、実行してよかったと安堵しております。

開催担当のお話をいただいてから、愛媛や鳥取での事例を傍観しながら、「新潟らしく」開催することを検討してきました。気が付いたら「好事例を自分達らしく

実行する」という縮図になっていました。終わりよければすべてよしです。これもすべて我々の企画に乗っていただいた皆様のおかげです。どうもありがとうございました。



古川先生、大変お世話になりました。(by 幹事会)

#### 2024年度総会・技術職員会議・シンポジウム アンケートについて(再依頼)

2024年10月11日に開催された機器・分析センター協議会 技術職員会議&シンポジウム&総会についてのご意見を伺うために本ミニアンケートへの回答の集まりが良くありません。今からでも思い出してご回答いただければ幸いです。

<https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSespC0PjrDsShyPa36n36wb4jZHfccK5f0pRmjERkx1zpDZA/viewform?vc=0&c=0&w=1&flr=0>



「12/17送信：【依頼】ミニアンケートのお願い」  
回答いただいた皆様：ありがとうございました。

## 2025 年度総会・技術職員会議・シンポジウム について(第1報)

令和7年度の総会・技術職員会議・シンポジウムの開催日時・場所は以下を予定しています。

### 記

日時： 令和7年10月10日(金)

場所： 長崎市 出島メッセ

<https://dejima-messe.jp/>

〒850-0058 長崎県長崎市尾上町 4-1



10月7, 8, 9日は”長崎くんち”です。宿泊の手配はお早目に。

## Discord のチャンネル増加中

Discord のチャンネルが増加中です。気になるチャンネルをチェック!

- ・分析相談なんでも
- ・NMR 相談チャンネル
- ・フローサイトメーター
- ・DNA シーケンシング
- ・元素分析
- ・質量分析 ms
- ・(新潟) 総会・シンポジウム-フリースペース
- ・幹事会への意見・質問・ゆるい雑談
- ・会長のつぶやき
- ・医学・生物系広場
- ・共用機器の管理運営

- ・企業との連携について
- ・セミナー情報等
- ・リユース情報
- ・公募情報
- ・協議会小集会



Discord 招待二次元  
バーコード

### -----Discord への登録方法-----

下記のリンクは国立大学法人機器・分析センター協議会の Discord の招待リンクとなっております。

<https://discord.com/invite/2w9CU4Asw7> (本招待リンクは招待期限なしとなっております。)

X (Twitter) もあります。

X (Twitter)で最新情報を配信しています。

<https://twitter.com/kikikyogikai>



協議会 X 二次元  
バーコード

## お願い

### ご意見募集

このニュースレターや協議会活動についてお気づきの点がありましたら、Discord または下記のメールアドレスにてご連絡ください。

連絡先：[kiki\\_kanjikai@googlegroups.com](mailto:kiki_kanjikai@googlegroups.com)

### 国立大学法人 機器・分析センター協議会 ニュースレター No.12

発行日：2024年12月27日

編集：国立大学法人 機器・分析センター協議会  
広報委員会

発行：国立大学法人 機器・分析センター協議会

連絡先：[kikikyogikai@gmail.com](mailto:kikikyogikai@gmail.com)

Website: <https://jcrea.jp/>

メーリングリスト：[kiki\\_ml@googlegroups.com](mailto:kiki_ml@googlegroups.com)